

総務常任委員会の記録

(防災安全課)

招 集 年 月 日	令和5年9月5日 (火)
招 集 の 場 所	松野町議会議場
開 会	9月6日 (水) 午前11時25分
閉 会	同 上 午後 0時07分
出 席 委 員	山石 恭助、山崎 匡、加藤 康幸、森岡 健治、赤松 紀幸、 安西 博文、山田 寛二
欠 席 委 員	
付 議 事 件 説 明 の ため 出 席 し た 者 の 職 氏 名	町長 坂本 浩、副町長 八十島 温夫、 課長 中井 和彦、課長補佐 山本 和幸
職 務 の ため 出 席 し た 者 の 職 氏 名	議会事務局長 大谷 吉廣、書記 岡崎 智恵子
付 議 事 件	1 認定第1号「令和4年度松野町一般会計歳入歳出決算の認定に ついて」

山石委員長	<p>ただいまから、防災安全課所管の付託案件の審査を始めます。認定第1号「令和4年度松野町一般会計歳入歳出決算の認定について」、防災安全課所管分の審査を行います。</p> <p>担当課長に説明を求めます。</p>
中井課長	<p>認定第1号 令和4年度 松野町一般会計歳入歳出決算の認定のうち、歳入該当分、歳出2款、総務費該当分、9款消防費について、成果説明書を中心に説明します。</p> <p>2款総務費、1項総務管理費、3目無線放送施設費の決算額は、5,308,090円となっています。</p> <p>成果説明書1の松野町防災行政無線外部受信設備等撤去処分工事については、IP告知放送システムへの一本化に伴い、防災行政無線の難聴地域に設置していたアンテナ等を撤去するもので、工事請負費3,615,000円を支出しております。</p> <p>また、2のIP一本化対策調査委託料については、IP告知システムの課題であるケーブル断線時における対策のほか、現在の屋外放送設備の更新等を検討するため、調査を行い業務委託料として484,000円を支出しております。</p> <p>9目交通安全対策費の決算額は、7,381,401円となっています。</p> <p>1の交通安全推進運動については、コロナ禍ではありましたが規模を縮小して、交通安全の強調期間である春と秋の全国交通安全運動において、鬼北交通安全協会及び町内3支部の役員と、交通安全指導員にご協力いただき、人の輪作戦、街頭指導を実施しました。</p> <p>また、虹の森公園前の国道においては、3年ぶりに「桃太郎茶屋」を実施するなど、交通安全の普及・啓発活動を展開しました。</p> <p>2の交通安全施設の整備状況については、各部落に設置しております、町管理の街路灯の更新にかかる費用1,274,770円とカーブミラーの新設、更新にかかる費用597,608円を支出しております。</p>

また、部落管理分については、部落要望があった街路灯1基を新設するとともに、松丸部落から要望のあった「LED等推進モデル事業」で実施した25基を含む40基を更新し、1,984,770円を支出しております。

次に、3の宇和島警察署 鬼北交番管内交通事故発生状況については、町内では無事故を達成し、交通死亡事故ゼロ日は、3月末時点で2,779日となり、現在も継続中であります。引き続き、交通安全の普及・啓発活動に努めて参ります。

5の高齢者運転免許証自主返納支援事業については、申請者は新規7人、更新33人の計40人で、補助金22,050円を支出しています。

6の高齢者安全運転支援装置設置事業費補助金については、令和4年度からの新たな取り組みで、高齢者のペダル踏み間違いによる事故を抑止するための装置を設置するもので、それに係る経費の一部を補助するものです。令和4年度は2名の申請があり60,000円を支出しています。この補助制度につきましては、高齢化率が高い本町にとっては有効な事業だと考えておりますので、引き続き、住民への周知を進めて参ります。

11目諸費では、当課所管分としましては、本町が令和4年度自衛隊募集重点市町となったことから、5の自衛隊募集事務委託金として、自衛隊員募集用懸垂幕77,000円を支出しております。財源につきましては、自衛隊募集事務委託金73,000円を充当しています。また、6の宇和島地区防犯協会に対する補助金として、705,000円を支出しています。

16目情報通信基盤施設管理費の決算額は、35,568,723円となっています。

1の鬼北地域情報通信基盤整備事業の推進については、事業の連携主体である鬼北町に対し、負担金34,251,699円を支出しております。その内訳としては、施設の維持管理に係る費用が1

0, 760, 605円、施設の整備に係る費用が23, 491, 094円となっております。

なお、財源については緊急防災・減債事業債21, 400, 000円を充当しています。

2のケーブルテレビ利用者負担額の助成については、町内に在住する保護世帯の経済的負担を軽減するために、放送サービス利用料の減免措置として、137, 500円を支出しております。

9款消防費、1項消防費、1目非常備消防費の決算額は、17, 209, 257円となっております。

1の消防団員及びポンプ等の配置状況については、令和5年3月末現在で、団員数は昨年度から1人減の153人となり、そのうち女性消防団員は4人であります。各部における車両及び機器の配備状況については、お目通しください。

続いて、3の昨年度の災害発生状況及び消防団員出動状況については、その他火災が3件ありましたが、地元消防団を中心とした初動対応により、最小限の被害に収めることができました。

また、台風14号の際には、消防団幹部をはじめ団員が各詰所に待機し、倒木処理や土嚢の設置等、地域の安全・安心を守るため、職務に精励いただきました。

4の訓練会等主要行事は、出初式や夏期訓練といった主要なものにおいては、感染対策を行ったうえで、規模を縮小して実施しました。その他の行事につきましては、お目通しください。

5の各種表彰については、多年に亘り活躍された団員に対して、消防庁長官表彰をはじめとする、各種の表彰が授与されております。

2目消防施設費の決算額は、19, 975, 050円となっております。

1の小型動力ポンプ購入事業については、第3分団第2部（蕨生）に配備するもので、2, 112, 000円を支出し、財源については、過疎対策事業債1, 800, 000円を充当しています。

2の消防用積載車購入事業については、令和3年度繰越分として、第2分団第2部（富岡）及び第3分団第3部（奥野川）に配備する車両で、11,396,000円を支出し、財源については、過疎対策事業債10,000,000円を充当しています。

同じく、令和4年度分としては、第2分団第1部（豊岡前）に配備する車両で、6,215,000円を支出し、財源については、過疎対策事業債5,500,000円を充当しています。

以上の事業により、町内すべての車両及び小型ポンプの更新が完了しましたので、令和5年度以降につきましては、老朽化が著しい消防車庫の改修など、発災時において速やかな初動対応ができるよう、計画的な施設整備に努めて参ります。

なお、参考資料として、各部落における防火水槽の設置状況を取りまとめておりますので、お目通し下さい。

3目水防費については、0円決算です。

4目災害対策費の決算額は、5,505,441円となっております。

1の備蓄物資の整備については、避難所用備蓄物資として、非常食、保存水のほか、衛生用品を新たに購入し、961,143円を支出しております。その保管方法としては、消費期限を迎える避難所の備蓄物資をローリングストックすることにより、各避難所において一定数の備蓄物資を確保していくものです。

2の災害対策費用保険については、令和4年度より新たに加入した保険制度で、高齢者等避難や避難指示といった避難情報を発令した際、避難者に対する物資や災害対策本部職員をはじめとする職員の人件費、消防団員の出動手当などが保険の対象となるものです。

令和4年度においては、897,068円の保険料を支出しましたが、台風14号で高齢者等避難を発令したことにより、全国町村会災害対策費用保険料として、876,937円を受領し、雑入として計上しています。

<p>山石委員長</p>	<p>5の防災士資格取得受講負担金につきましては、頻発する大規模災害時における地域のリーダーを養成することを目的とした新たな取り組みで、10名の申請があり受講負担金として、105,000円を支出しております。手続きが完了していない方もおられますが、今後は地域の防災士として活動していただくことになっていきます。歳出については、以上であります。</p> <p>また、歳入につきましては、成果説明書の中で併せて説明いたしましたので、省略させていただきます。</p> <p>以上で説明を終わります。</p> <p>よろしく御審議いただき、ご承認賜りますようお願いいたします。</p> <p>担当課長の説明が終わりました。</p> <p>委員からの質問を許します。</p>
<p>森岡委員</p>	<p>2款1項11目の宇和島地区防犯協会補助金、これの内訳が分かりましたらちょっと教えてもらいたいと思います。</p>
<p>中井課長</p>	<p>防犯協会の詳細の内訳につきましては、今手元に明細がございませんので、細かな説明は出来ませんが、概要といたしましては、防犯協会で実施されております防犯灯の設置ですとか、そういったものの事業費と、あと防犯協会の人件費が主な内容となっております。</p> <p>詳細につきましては防犯協会の総会資料等がございますので、後刻、御報告させていただいたらと考えております。</p>
<p>森岡委員</p>	<p>また折を見てその辺、教えていただいたらと思います。</p> <p>もう1点、これは9款1項4目の気象情報提供サービス、ここで西小、東小、南小3ヶ所に設置されておりますが、今これは現在使用されてるものだと思いますが、目黒の基幹集落センターとか、滑床、ホテルの前の吊り橋とか、その辺について、稼働をしているのか、現在、把握出来ているのか教えてください。</p>
<p>中井課長</p>	<p>ただいま質問のありました、気象情報システムにつきましては、当初導入しました西小、東小、南小の3ヶ所で、現在も稼働しております。その情報をもとにしまして、この間来ました台風のときの</p>

森岡委員	<p>ような情報が必要なときに、利用をしているところでございます。</p> <p>これまでの内容についても、全て記録をとっておりますので、必要な際にも利用ができるようになっております。あと、滑床につきましては、国交省が若山隧道のところに設置をしております雨量計などがございますので、そういったものを利用するとともに、あとは気象台のほうで情報を集めておられますので、レーダー解析ですとか、そういったものを頼りながら、災害の情報収集ですとか、雨量の情報収集に努めていきたいと考えております。</p> <p>理解は出来てるんですが、一応、各場所に付いている物が確実に起動してるか、してないか、その辺はやはり防災としてせっかくついている物ですから、有効利用できるように、確認は必要じゃないかなと思っておりますので、その辺は再確認していただいたらと思います。</p>
中井課長	<p>ただいま御質問いただいた件で、滑床のライブカメラのことを、私の認識違いがありましたので、雨量計のことと同じ回答をしてしまいましたが、ライブカメラについては、現在、もう活用が出来ていない状況であることを、御報告して、答弁とさせていただきます。</p>
森岡委員	<p>答弁していただいたんですが、あれは多分12年ほど前についたんじゃないかなと思いますがね、それとかコミセンの屋上とかも。コミセンの屋上は別に新しくついてるんで、問題はないのではないかなとは思いますが、やはりレーダーだけじゃなくってカメラでしたら、今の映像を見れる、確認できる、そういうシステムがせっかくついていても、不備があるんじゃないかなと思いましたが、質問させていただきました。</p> <p>今後このこういう災害の確認とか、そういうものに役立つ物については、どうしても傷むものもありますんで、その辺常に気をつけて、運用に当たっていただいたらと思います。</p>
山崎委員	<p>私からは、防火水槽の件についてちょっとお尋ねしたいと思います。</p>

参考資料で表示されておりますけども、蓋無しの部分っていう、浄化槽がまだ12基ですか、残っているような形のものが出ておるんですけど、蓋無しの防火水槽っていうのは、実際なかなか火事になったときに、ドブがたまるとか、水草が生えてるっていうような状態のところが多いように私は思っております。やはりできるだけ早く埋設型の防火水槽に変えるべきなんだろうなというふうに思っておりますので、その辺予算の都合もあると思うんですけど、順次更新していくべきなんだろうと思っておりますので、その辺をお願いしたいと思います。

それと、もう1つは防災士の関係なんですけども、防災士を先だって取られた方とか、もうある程度高齢の方とかもおるように私は見受けられるんですけども、防災士という資格を取ったあと、そこから後のアップデートというか、情報、状況が変わっているようなことも数多くあるように思うんですけども、その辺を防災士の方に集まっていただいて、講習なり研修なりっていう形で、新しい技術とか情報を、更新していくっていうことが必要なんじゃないかなというふうに思います。その辺のことを、検討していただくっていうことを質問として上げさせていただきたいと思います。

中 井 課 長

ただいまの質問について御回答いたします。まず、蓋無しの防火水槽12基についての対応についてでございますが、これにつきましては町のほうでも、蓋のないものについては、もう古い型で、中に苔が生えとったりして、実際使えない箇所もあるかと思っております。そういった中で、今年度ではありますが、部落要望としまして、目黒地区のほうから、防火水槽のやり替えといったことで、取り組むように今、調整をしているところでございます。蓋有りの埋設タイプの現状の防火水槽を新たに設置することによりまして、古い防火水槽も撤去する計画でございます。そういったことで、今後、残りの地区が11ヶ所になりますが、そういった地区につきましても、替わりの場所に新たな防火水槽、蓋有りの安全なタイプですね、

	<p>これを設置しながら、蓋無しタイプを撤去していく方向で整備を進めていきたいと考えております。</p> <p>2つ目の防災士の取得後の講習といたしますか、その対応につきましては、今取っていただいている方は皆さん、地区の防災士として御活躍いただいております、年に1回総会のほうは開いております。ただしここ2、3年はコロナ禍ということもあり、十分な活動は出来ておりません。ただし、去年、初めて取り組みをしたのが、町の職員の避難訓練が年に2回ぐらいあるんですが、その時に、防災士の方に来ていただいて、防災士の方から見た職員の行動などを講評していただくような取組を始めたところでございます。ただし、防災士そのものの技術向上といたしますか、そういったことにつきましては確かにここ2、3年といたしますか、それ以前からちょっと出来ておりませんでしたので、今年度につきましては、救急救命の講座といったようなものをやりたいと考えております。資格を取っただけでは、どうしても忘れがちなことや、せっかく身についた知識なども薄れていってしまいますので、そういったことについては、継続的な取り組みをしていきたいと考えております。</p>
山崎委員	引き続きそういう形での実施をお願いしまして、私の質問は終わります。
山田委員	<p>私からは2点あるんですけども、先ほど防災士の話もちらっと出たんですけど、去年は8人が取得されて合計で27人ということで、現在、防災士の方おられるんですけど、この人数が多いか少ないかはちょっと私には分かりませんが、最近大規模な災害が全国で発生していますので、松野町においても、何年前にも豪雨災害がありましたし、近年も台風災害とかありますので、やはり防災士とか消防団とか、そういった人員は、必要不可欠というか、多ければ多いほど、そういったことにも備えにもなると思うんですけども、特に防災士の資格については、補助も出るということを知っていますので、町民の方に少しでもというか、多くの方に防災士の資格を取って</p>

ただけるような、そういった広報というか、そういった呼びかけ等もされとるとは思うんですけど、今後どのように強力に行っていくか、そういったことも私も個人的に興味があるので、受けさしてもらおうかなという気はしています。

それと、消防団についても、1名減の153名で定員割れの状態がかなり続いているんじゃないかなと思うんですけど、以前は女性の団員もかなりおられましたし、なかなか団員確保は難しいのは承知してはいるんですけど、女性団員とかも入っていただくような、そういう取り組み等もやっていただいて、少しでも有事の際に備えるような体制が出来たらいいんじゃないかなというふうに思いますので、そこら辺をちょっと、お聞かせいただいたらというふうに思います。

中 井 課 長

まず、防災士の育成についてでございますが、防災士につきましては、昨年8名増えたことによりまして、町内の防災士は27名となりました。これは、部落別に分けますと平均して、大体2名から3名といったところで、これは私としては、今、いろんな災害が頻発する中で、防災士の人数としては、少ないと感じております。

そういったことから、今現在の防災士さんは、地域に2名から3名しかいないことから、なかなか責任感も持たないといけませんし、資格を受けるとなると、地元の責任を背負うといえますか、そういったことから、なかなか手を挙げる方が少ない状況でありましたことから、昨年度より、負担の1つであります経費を助成することによりまして、防災士を受けやすくなるのではないかということでこの制度を始めたわけですが、防災士につきましては、最終的には、これは担当課といいますか私の目標ではございますが、各組に1人程度、今70組ございますが、それぐらいの防災士は必要だと考えております。

といいますのも、風水害とかの一般的な災害でありましたら、ある程度皆さんもう知識もありますし、経験もございますので対応が出来ますが、南海トラフ大震災といったような大規模で想定が出来

山 田 委 員	<p>ないような災害の場合には、やはり地域にリーダーが必要になるか と思います。そういった意味で、今の人数では足りないということ で、今後も、この補助事業を継続しまして、防災士を養成してい きたいと考えております。</p> <p>また、もう一つの消防団員の育成、特に女性消防団ということ ではありましたが、女性消防団員につきましても、継続的に呼びか けを今行っておるところでございますが、なかなか入団者、以前ほ どはおりませんが、人づてを頼りながらも、少しでも増やしてい きたいと考えております。</p> <p>あわせて、人数自体がほぼ横ばいとは言いながら、若干、減少の 傾向にあります。そういったことから、消防団員におきましても、 本年度、機能別消防団制度とあって、要は、業者さんですとか、あと OBの方の活用といった新たな取り組みについても、幹部会などで 話を出しておりますので、そういった形での団員確保に努めてい きたいと考えております。</p> <p>今ほど、積極的に団員を増やすとか、防災士を増やすというこ とをいろいろしていこうと言っていたんですけど、防災士のほ うは、70名ぐらいが理想やというふうに言われましたので、それ に向けて、我々もそういう声かけもしていきたいと思ひますし、広 報紙を使うなり、いろいろな場面でそういう呼びかけなり、してい ただいたらいかなというふうに思ひます。</p> <p>これも、言うだけではなかなか難しいんで、我々も協力はさせて いただいて、できれば私も受講させてもらおうかなという気持ち がありますので、是非また教えていただいたらと思ひます。</p> <p>消防団についても、女性団員だけということではないんでしょ うけど、先ほど言われましたように、私も一応OBですので、OBを どのように活用されるかということも具体的に進めていただいたら、 経験者は多少なりとも役立つと思ひますので、そこら辺もまた積極 的に取り組んでいただいたらというふうに思ひます。</p>
---------	---

山崎委員	<p>すいません、質問ではないんですけども、防災士の人数確保ということで、当然ながら町内の方にお声掛けをしていくのは当たり前のことなんですけど、職場防災士というような形で、ある程度人数がおる職場に対しては、話を持って行って、その職場の中で防災士をつくりませんかというような声かけもしていただけたらと思います。</p> <p>これは、お願いなので、返答は要らないです。</p>
赤松委員	<p>1点教えていただけたらと思いますが、災害対策費用の保険の関係でございますが、今回新規に加入をされたようで、近年の異常気象等により、避難指示等が発令をされる機会が大変多くなっております。</p> <p>この保険はそれに対して、それを対象とした保険ということであるようでございますが、保険の掛金はどのような基準で約90万余りの保険となっているのか、また町の保険の該当者は、町の防災計画から見れば万一災害が起きた場合の対応をした場合に、会計年度任用職員も含めた全職員が対象になるのか、また、町職員でない、今ほども出ておりましたが、防災士資格者などや地域の役職者等も対象になるのか、その辺、教えていただけたらと思います。</p>
中井課長	<p>今回、新たに導入しました保険につきましては、保険料の算定基準につきましては、決まりました単価に、町内の町民の人数を掛けたものにプラスして、固定費を足したものとして、保険料を算定されております。この保険料につきましては、今ほどございましたが、職員の費用とかの対象になるかということでございますが、それについても該当になります。ただし該当基準というのをちょっとここに書いてないので申し上げますと、保険をかけても、戻ってくるのが避難情報の発令が条件になります。要は、高齢者等避難もしくは避難指示、これを発令しないと、保険金は支払われません。そういったことで、高齢者等避難を発令しましたら、実際にかかった費用の2分の1が町に支払われます。そして、避難指示を発令しました</p>

<p>赤 松 委 員</p>	<p>ら、実際にかかりました費用の全額が支払われる保険制度でございます。</p> <p>そういったことで、昨年は86万円余りが返ってまいりましたが、その倍の額が実際かかった費用でありまして、高齢者等避難を発令したことによりまして、半額であります50%の保険金がおりましたということで御理解をいただいたらと思います。</p> <p>そうすると、高齢者避難の指示等が出た場合に、何人の方が避難されたのか、そういう人数は、関係はないわけでしょうか、それと、この90万余りの掛金で、1年間たとえ何回避難指示等が出されても対応ができるのか、その辺も教えていただいたらと思います。</p>
<p>中 井 課 長</p>	<p>まず、避難者について対象になるかということですが、避難者の人数については、多くても少なくても関係はございません。保険料のほうは一定でございます。それが1年間続くということでありまして、回数については、制限はございません。1回の災害につきまして、上限が300万でありまして、それについては、回数の制限はございません。</p> <p>ただし、年間の費用といたしまして、1,500万が上限となっておりますので、そこまでについては、保険のほうで補償していただくこととなります。</p>
<p>山 石 委 員 長</p>	<p>それでは、採決に移ります。</p> <p>ただいま審査しております、認定第1号について、原案のとおり御承認いただけますか。</p> <p>(異議なしの声)</p>
<p>山 石 委 員 長</p>	<p>賛成全員です。</p> <p>したがって、認定第1号「令和4年度松野町一般会計歳入歳出決算の認定について」、防災安全課所管分は、原案のとおり認定すべきものと決定いたしました。</p>

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

令和5年11月16日

松野町議会総務常任委員会委員長 山石 恭助